

令和4年 第3回 大仙市議会定例会

# 市 政 報 告

令和4年8月18日

大仙市長 老 松 博 行

令和4年第3回大仙市議会定例会にあたり、諸般の状況について申し上げます。

はじめに、大雨による災害についてであります。

停滞する活発な前線の影響により、県内では8月9日から16日にかけて断続的に激しい雨が降り続き、県北部を中心に甚大な被害をもたらしております。

本市におきましても、特に12日深夜から13日早朝にかけて、雷を伴う非常に激しい雨に見舞われており、市では、これを受け、13日未明に災害警戒対策室を設置し、河川の増水や土砂災害への警戒に当たるとともに、同日7時45分には災害警戒対策部に改組し、西仙北及び協和地域に避難所を開設したうえで、土砂災害のおそれがある10地区374世帯に対して高齢者等避難情報の発令を行うなど、市民の皆様の命を最優先に、早め早めの対応に努めたところであります。

今般の大雨では、幸いにして人的被害はなかったものの、一時的にまとまった雨が降ったことにより、西仙北地域の住宅1棟に床下浸水の被害が生じたほか、落雷により最大で1,670戸に停電が発生しております。また、農地の冠水や通行止めなどの交通障害、土砂崩れによる道路被害も確認されております。被害に遭われた皆様に心からお見舞いを申し上げますとともに、災害復旧への対応を早急に進めてまいります。

次に、新型コロナウイルス感染症への対応についてであります。

総じて減少傾向にあった新規感染者数は、オミクロン株の一種である B A. 5 への置き換わりが進んだことなどから、6 月下旬以降、全国各地で急速に再拡大しており、8 月 10 日には一日の新規感染者数が 25 万人を超えるなど、我が国はまさに「第 7 波」の渦中にあります。

秋田県内におきましても、高齢者施設や職場、学校でのクラスターが多発したことなどから感染が急拡大しており、昨日 8 月 17 日には、過去最多となる 1,673 人の新規感染者が確認されております。

こうした状況を受け、国では、都道府県が地域の実情にあわせた機動的で効果的な対策を講ずることができる「B A. 5 対策強化宣言」を創設したほか、オミクロン株に対応した新たなワクチンについて、10 月半ばにも接種を開始する方針を表明しております。

本県におきましても、7 月 22 日に独自警戒レベルを 2 に引き上げるとともに、診療体制の充実や保健所の体制強化、無料 P C R 検査の期間延長、ドライブスルー方式による臨時発熱外来の開設などの対策を講じております。また、8 月 11 日には、県独自の「感染拡大警報」を初めて発令し、「秋田県検査キット配布・陽性者登録センター」の活用を呼びかけるとともに、翌 12 日には「B A. 5 対策強化宣言」を発出しております。

市では、こうした国や県の動きと歩調をあわせる形で、8 月 3 日に

ホームページを通じて感染防止対策の徹底を呼びかけたほか、9日には緊急広報を全戸配布するとともに、同日付けの新聞紙面に、仙北市及び美郷町との連名による緊急メッセージを掲載するなど、注意喚起に努めているところであります。

市民の皆様には、三密の回避や十分な換気、場面に応じたマスク着用など、引き続き基本的な感染防止対策に取り組んでいただくとともに、不安がある際の市指定PCR検査所の活用や体調不良時の外出控え、早期受診など、一人ひとりが「感染しない、させない」行動を徹底していただきますよう改めてご理解とご協力をお願いいたします。特に換気につきましては、エアコンの使用中でも、熱中症に注意しつつ、こまめな換気に努めていただきますよう重ねてお願いいたします。

ワクチンの追加接種につきましては、8月17日現在で、全市民の75.3%が3回目の接種を終えております。4回目の接種については、60歳以上の高齢者と重症化リスクの高い方などを対象に、市内3箇所の集団接種会場で7月28日から実施しております。

ワクチンは、ご自身の感染予防や重症化を防ぎ、医療提供体制を守るだけでなく、家族や友人など皆様にとって大切な人を守ることにもつながります。3回目接種がお済みでない方や、4回目接種の対象となっている方は、今一度ワクチンの接種について検討いただきますようお願いいたします。

新型コロナウイルスの感染拡大・縮小の波が続き、閉塞感から抜け出せない日常が今なお続いておりますが、コロナ禍の暗い空気を吹き飛ばし、市民の皆様にも少しでも元気をお届けしようと、6月19日に「Music Festival in DAISEN 大音郷 2022」を開催しております。地元で活躍するアーティストを中心とした音楽発信型イベントとして企画しているもので、今年で4回目を数えております。今回は、新たな試みとして、FMはなび主催の「学生対象ライブコンテスト」を勝ち抜いた2組にも出演していただいております、多くの来場者を大いに魅了しております。

また、7月16日から3日間の日程で、親父たちの甲子園「第4回全国500歳野球大会」を3年ぶりに開催しております。県外から過去最多となる24チーム、県内から6チームをお迎えして開催した今大会では、優勝経験のある牛島クラブと岩手県のアイ オー エフ クラブI. O. F. C<sup>\*</sup>の両チームが決勝戦で顔をあわせ、大熱戦の末、サヨナラホームランによる劇的な幕切れで、I. O. F. Cチームが2連覇を成し遂げております。

万全な感染防止対策のもと、成功裏に終了したこのたびのイベントや大会は、コロナ禍における市主催イベントに限らず、各地域における祭りや諸行事開催のモデルケースになるものと考えております。今月27日に開催される「第94回全国花火競技大会 大曲の花火」におきましても、今般の例を参考に、感染防止対策を徹底しながら、安全で安心な大会運営に努め、開催を心待ちにしている全国の花火ファンの

※I. O. F. C (イワテ・オーバー・フィフティ・クラブ)

期待に応えられる素晴らしい大会となりますよう、関係の皆様とともに引き続き準備を進めてまいります。

国際社会の根幹を揺るがしているロシアのウクライナ侵攻につきましては、いまだ終結の糸口すら見えない状況にあり、長期化に伴い混迷の度合いを深めております。この侵攻により多くのウクライナ国民が避難を余儀なくされており、本市においても、これまで4名の方々が避難されております。市といたしましても、人道的支援として就学や国民健康保険への加入、医療費免除などのサポートを行っており、加えて、避難されてきた皆様が、本市での生活基盤を早期に確立できるよう、ふるさと納税を活用した経済的支援として「ウクライナ避難民等支援事業」の寄附受付も行っているところであります。7月4日には避難されてきた方々と面会し、支援金の目録を手渡しするとともに、直接お話をお伺いし、本市での生活に徐々に慣れてきつつあることを確認しております。今後も、秋田県や秋田県国際交流協会等と連携を図りながら、避難されてきた皆様が安心して生活できるよう、必要なサポートを行ってまいります。

世界では今、今般のウクライナ危機をきっかけに、かつて無いほど不確実性が高まっており、経済・社会に大きな混乱が生じております。

我が国においても、急激な円安の進行と相まって、長期化するコロナ禍に追い打ちをかけるように、原油や穀物などの高騰が続いており、私たちの生活や産業など多方面に影響が及んでおります。

こうした状況を受け、国では、4月に「コロナ禍における『原油価格・物価高騰等総合緊急対策』」を決定し、原油価格やエネルギー、原材料、食料分野など多岐にわたる対策を講じているところであります。

本市においても、今般の原油価格高騰により大きな影響を受け、経営が圧迫されている貨物自動車運送事業者に対し、燃料費の一部を支援したいと考えており、今次定例会に予算の補正をお願いしております。

今後も、現在実施している「プレミアム付地域商品券発行事業」や「全国へ届け大仙の味～夏の陣～」などの緊急経済対策を着実に進めるとともに、国や県と歩調をあわせつつ、市民の皆様の声を丁寧に向いながら、真に必要なとされる対策を機動的・重点的に講じてまいります。

次に、主な部局ごとに諸般の報告を申し上げます。

はじめに、総務部関係についてであります。

市の職員採用試験につきましては、5月12日から6月9日までの間、上級職や保健師などの試験区分を対象にエスピーアイスリーSPI3による第1次試験を行い、160名が受験しております。昨年度に引き続き人物評価を重視し、自己PR動画の提出を求めたほか、2次試験においては

Web面接、3次試験においては対面による面接を実施しております。選考の結果、上級職22名、保健師1名、管理栄養士1名、移住定住者枠1名、職務経験者枠5名のあわせて30名が合格し、7月29日に発表しております。なお、「短大・高校卒業程度」の職員採用試験につきましては、8月1日に申込受付を開始しており、9月25日に第1次試験を行うこととしております。

次に、企画部関係についてであります。

外国人支援につきましては、誰もが住みやすい環境の実現に向け、交流振興課内に「だいせん外国人相談窓口」を設置し、7月1日に業務を開始しております。窓口には専門の相談員を配置し、在留手続きや保険・福祉、子育てなどの生活に係る相談対応や情報提供を多言語で行っており、気軽に相談でき、相談者の気持ちに寄り添える相談窓口を目指してまいります。

「若者チャレンジ応援プロジェクト」につきましては、若者チャレンジの総合的なサポート等を担う「だいせんLabo」において、起業をはじめとする様々な相談対応を行っており、7月末までに延べ71人の皆様から相談をいただいております。「若者チャレンジ応援補助金」については、ガバメントクラウドファンディングを活用するチャレンジ及び課題解決タイプに2件、ユースチャレンジタイプに1件の申請を



受け付けており、今後、外部有識者を交えた審査を行うこととしております。引き続き、本市を舞台に多くの若者が活躍できる機会の創出に取り組みながら、地域の元気創出と若者の地元定着につなげてまいります。

次に、市民部関係についてであります。

マイナンバーカードの普及促進につきましては、国のマイナポイント事業の第2弾が6月30日にスタートしたことを受け、窓口におけるサポート体制の強化に加え、イオンモール大曲店内の自治体スマートカウンターにおいて、休日や時間外でも同様のサポートが受けられる環境を整備しております。現在、同カードを活用した各種証明書のオンライン申請や証明書自動交付サービスの開始に向けて準備を進めているところであり、多くの市民の皆様はその恩恵をお届けできるよう、対応する行政サービスの拡充を図りながら、マイナンバーカードのさらなる普及促進に努めてまいります。

次に、健康福祉部関係についてであります。

コロナ禍で様々な困難に直面している方々を支援する「住民税非課税世帯等への臨時特別給付金支給事業」につきましては、対象要件に該当することが見込まれる1,206世帯へ確認書を送付し、8月1日に受付

を開始しており、8月24日から順次給付を行うこととしております。

「健幸まちづくりプロジェクト」につきましては、参加者の皆様に楽しみながら健康づくりを継続していただけるよう、獲得した健幸ポイントに応じて賞品を贈呈するキャンペーンを実施しており、抽選で500名の方に対し、8月15日に地域特産品を送付しております。6月には、市内全小中学校に対し、活動量計の歩数データなどを送信できるリーダーライターを新たに設置したほか、健康経営に積極的に取り組む市内3事業所から測定機器を導入していただくなど、健幸拠点の拡充が図られております。こうした取組により、4月以降の新規参加者は2,107人、新規参加事業所は36社となっており、8月15日現在、23,790人、327事業所から参加をいただいております。

次に、農林部関係についてであります。

「『農業と食』活性化推進事業」につきましては、農業所得の向上に向けた市独自の取組として、現在、乾燥調製施設等を共同で利用している大曲及び神岡地域のライスセンター利用組合に対し、施設改修等に係る支援を行っております。また、地域の核となる農業経営体の育成に向けた取組として、水稻や大豆等の機械、農業用ドローンの導入など、あわせて23件に対して支援を行っているほか、今般、国や県の事業採択を受け、農業法人の共同利用機械等の導入や、JA秋田おぼこが

実施する米の色彩選別機の導入を支援することとしており、今次定例会に関連する予算の補正をお願いしております。

燃料や飼料高騰への対応につきましては、「施設園芸セーフティネット構築事業」や「配合飼料価格安定制度」が、より生産現場の実態に即した制度となるよう、要件の緩和や財源の確保について、秋田県市長会を通じて国に要望するとともに、県の家畜飼料価格高騰支援事業の活用促進などにより、畜産農家の生産基盤維持に努めております。

肥料高騰への支援につきましては、今般、新たに創設された肥料価格高騰対策事業の活用を促しつつ、安定した農業経営につながるよう、肥料価格の動向に応じて、市独自の支援策を検討してまいりたいと考えております。

「第145回秋田県種苗交換会」につきましては、7月1日から物産販売の出店募集を行っており、協賛第1会場の市役所東側駐車場で行われる農工商フェア、協賛第2会場の「大曲の花火」公園で行われる物産販売展ともに多くの事業者から申し込みが寄せられております。

7月28日には、キャッチフレーズとポスターデザインが決定しており、今後、市内の主要施設をはじめ、東北各県の自治体や主要な駅、道の駅などにポスターを掲示するとともに、本日開設した大仙市協賛会のホームページを通じ、大仙市として初開催となる種苗交換会を県内外に広くPRしながら、開催に向けた機運を盛り上げてまいります。

次に、経済産業部関係についてであります。

雇用・就業対策につきましては、7月22日に、グランドパレス川端を会場に令和4年度「仙北地域求人説明会」が開催されており、ハローワーク大曲及び角館管内の企業39社と、令和5年3月卒業予定の高校3年生103人が参加しております。管内の就職希望者231人のうち県内への就職希望者は178人で、県内就職希望率は77.1%となっており、昨年に引き続き高い水準となっております。今後も関係団体の皆様とともに、若者の地元定着に結び付くきめ細かな取組を継続的に実施してまいります。

次に、観光文化スポーツ部関係についてであります。

スポーツを通じた地方創生や、市民の健康増進に資する拠点づくりとして整備を進めている「多目的人工芝グラウンド整備事業」につきましては、7月21日に管理棟の建築工事に着手しております。同工事を含めたすべての工種において、概ね当初の計画どおり進捗しており、令和5年7月の供用開始に向け、引き続き事業を推進してまいります。

次に、建設部関係についてであります。

「雄物川改修整備促進期成同盟会」、「国道13号大曲・秋田間整備促進期成同盟会」並びに「地域高規格道路本荘大曲道路整備促進期成

同盟会」につきましては、近隣自治体の同盟会とともに、6月9日から7月21日までの間、国土交通省や財務省、秋田県選出国會議員、秋田県などに対し、集中的に要望活動を行っております。今後も、新型コロナウイルス感染症の動向に留意しつつ、道路・河川双方の着実な課題改善に向けた要望活動を積極的に実施してまいります。

次に、教育委員会事務局関係についてであります。

地域資源に対する学習意欲のさらなる向上を目指す「大仙市ふるさと探訪<sup>がくえん</sup>楽園ツアー」につきましては、7月21日の歴史探訪を皮切りに、文化財や自然などを題材に5つのコースでツアーを実施し、あわせて53人が参加しております。ふるさとの魅力を再認識するとともに、健康まちづくりプロジェクトやふるさと博士育成事業との連携により、健康づくりや地域への理解を深める機会となっております。

成人式につきましては、今年度内に21歳を迎える方々を対象に、「大仙市<sup>はたち</sup>二十歳を祝う会」として8月15日に開催しております。式典の開催にあたっては、成年年齢の引き下げを考慮し、その対象年齢を検討しておりましたが、市民や高校生の皆様からの意見を踏まえ、引き下げは行わず、従来の基準により実施することとしたものであります。同日には、感染拡大により開催を見送っていた令和3年度の成人式についても「大仙市成人を祝う会」として開催しております。

最後に、財政状況についてご報告申し上げます。

令和3年度決算につきましては、市税収入が当初の見込みを上回ったことに加え、豪雪に伴う除排雪経費や、低所得者世帯及び園芸農家等への原油高騰助成が特別交付税に算定されたことなどにより、普通会計における実質収支は、合併後最大となる22億8,238万円の黒字となっております。実質単年度収支につきましても、財政調整基金の取り崩し額を超える積み増しを図ったことなどにより、4年連続の黒字決算となる8億9,845万2千円の黒字となっております。

国民健康保険事業特別会計をはじめとする各特別会計決算につきましては、全ての会計において実質収支がゼロまたは黒字となっており、また、市立大曲病院事業会計、上水道事業会計、簡易水道事業会計及び下水道事業会計の各企業会計決算における収益的収支は、いずれも黒字となっております。

主な財政指標につきましては、実質公債費比率が、公債費の増加などにより昨年度と同率の10.6%となっておりますが、将来負担比率については、全会計の市債残高や一部事務組合の償還負担額、退職手当負担見込額など全ての項目が減少したことに加え、財政調整基金をはじめとする各基金の積み増しを図ったことなどにより93.8%となり、前年度より14.5ポイント改善しております。

しかしながら、今後の財政運営につきましては、人口減少の進行や

長引くコロナ禍の影響に伴う地域経済の低迷などにより、市税収入や地方交付税などの一般財源不足が予想される一方で、社会保障関係費の自然増や、老朽化が進むインフラや公共施設への対応などによる歳出の増加が見込まれており、今後も厳しい状況が続くものと考えております。加えて、今般のウクライナ情勢の悪化や円安のさらなる進行により、原油価格や建設資材をはじめとした物価の高止まりが懸念されるなど、先行きは不透明な状況にあります。

こうしたことを踏まえ、既存事業の見直しや公共施設等総合管理計画に基づく取組の着実な実行、市債の発行額抑制や繰上償還、財政調整基金の積み増しなど、将来を見据えた健全な財政運営に一層努めながら、新型コロナウイルスの感染対策や、市民の皆様の生活と地域の産業・雇用を守る機動的できめ細やかな対策はもとより、人口減少の抑制や地方創生の実現に向けた取組、時代の潮流を捉えた変革へのチャレンジなど、未来への投資にも力を入れてまいります。

以上、諸般の状況をご報告申し上げましたが、今後とも、市民の皆様並びに議員各位のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げまして、市政の報告とさせていただきます。

別添

令和4年第3回大仙市議会定例会

## 市政報告（諸般の報告）

令和4年8月18日

大 仙 市



## 目 次

### 【企画部】

- 1 秋田新幹線新仙岩トンネル整備促進期成同盟会について..... 1
- 2 大仙市の特産品を活用した共同開発メニューについて..... 1

### 【健康福祉部】

- 3 母子保健について..... 1

### 【農林部】

- 4 水稲の生育状況について..... 1
- 5 大豆産地化推進事業について..... 1
- 6 園芸メガ団地のトマト栽培について..... 2
- 7 スマート農業について..... 2
- 8 米の収入減少対策について..... 2
- 9 クマの出没状況について..... 2
- 10 市の花「コスモス」の普及促進事業について..... 3

### 【経済産業部】

- 11 花火伝統文化継承資料館はなび・アムの展示について..... 3

### 【観光文化スポーツ部】

- 12 観光PRについて..... 3
- 13 各地域の夏祭り行事について..... 4
- 14 嶽の湯の修繕工事について..... 4
- 15 文化財の活用について..... 4
- 16 大仙市文化財保存活用地域計画について..... 4
- 17 夏季スポーツ合宿について..... 4

### 【建設部】

- 18 物渡台地区防災集団移転について..... 4

### 【教育委員会事務局】

- 19 大仙市中学生サミットについて..... 5
- 20 四ツ屋公民館改築事業について..... 5

**【上下水道局】**

21	上水道事業について .....	5
22	簡易水道事業について .....	5
23	下水道事業について .....	5

**【新型コロナウイルス経済対策】**

24	経済対策 4月臨時会 .....	6
25	経済対策 6月定例会 .....	7

## 【企画部】

### 1 秋田新幹線新仙岩トンネル整備促進期成同盟会について

秋田新幹線新仙岩トンネル整備促進期成同盟会につきましては、7月28日から29日にかけて、顧問である秋田県及び同盟会副会長7団体の参画のもと、国土交通省や財務省をはじめ、秋田・岩手両県選出国會議員に対し、新仙岩トンネル整備の早期実現に向けた要望活動を行っております。

### 2 大仙市の特産品を活用した共同開発メニューについて

株式会社ドリームリンクとの間で締結した「地域の食と食文化を通じた豊かなふるさと秋田づくりに関する連携協定」に基づき、同社と共同で開発を進めてまいりましたメニューの第1弾として、本市の特産品である「杜仲豚」と「いぶりがっこ」を組み合わせたシュウマイ、地域で食されてきた「豆腐カステラ」をアレンジしたブリュレとクリームサンドの3品が完成し、8月16日に完成発表会を開催しております。

## 【健康福祉部】

### 3 母子保健について

母子保健につきましては、弱視や斜視など視力の異常を早期に発見し、視力回復に向けた適切な治療につなげるため、8月の3歳児健診から、フォトスクリーナーによる屈折検査を実施しております。

## 【農林部】

### 4 水稲の生育状況について

水稲の出穂期につきましては、平年より1日早い8月1日となっております。6月上旬の低温や日照不足の影響により、平年に比べ茎の分けつが遅れ、茎数がやや少ないとされていることから、収量確保に向け、県や関係機関と連携しながら適切な栽培管理を呼びかけてまいります。

### 5 大豆産地化推進事業について

今年度の大豆栽培面積は、昨年度より126ヘクタール多い1,420ヘクタールとなっております。現在、防除や中耕培土等、生育に応じた栽培管理作業が進められております。市では、大豆のさらな

る産地化を推進するため、農業者の栽培技術向上に向けた施策に取り組んでおり、7月27日には、大豆生産農家、農研機構東北農業研究センター等関係者による現地検討会を開催したほか、国の事業を活用した大豆コンバイン等の機械導入支援を進めております。

## 6 園芸メガ団地のトマト栽培について

園芸メガ団地におけるトマト栽培につきましては、昨年より2日早い6月15日から出荷が始まっております。7月末現在の出荷量は、6月上旬の低温や7月中旬以降の高温により、昨年同時期と比較して約11%減の83トンとなっておりますが、販売額は市場価格が高値で推移したことから、昨年同時期と比較して約6%増の2,350万円となっております。今後は適切な管理作業に加え、着果促進を確実にを行い、出荷期の長期化により出荷量確保に努めると伺っております。

## 7 スマート農業について

スマート農業機械の保有状況や今後の導入意向を把握するため、市内1,339の認定農業者等を対象に、スマート農業に関するアンケート調査を実施し、518件の回答を得ております。アンケートでは、スマート農業に関心があるという声が多数寄せられており、今後、農業機械の導入に対する支援の制度化を図るなど、スマート農業の普及を促進してまいります。

## 8 米の収入減少対策について

令和3年産米の価格下落に伴い、国の収入減少影響緩和交付金が公示され、本市では、6月までに、1,020経営体に対して積立金を含めた約8億8千万円が補てんされております。また、農業経営の収入保険については、8月17日現在、121経営体に対して約1億7千万円が支払われております。こうした事態に備えるためにも、今後、農業共済組合等と連携しながら、セーフティネットへの加入促進に努めてまいります。

## 9 クマの出没状況について

8月17日現在、市内でクマの目撃情報が61件寄せられております。昨年の同時期と比較して10件程度減少しておりますが、6月14日早朝には、協和地域在住の男性がクマに襲われ、全治2週間のけがを負うといった事案が発生しております。

近年、市街地におけるクマの出没事例が全国各地で確認されていることから、7月12日には、秋田県主催のもと、内小友地内において市、警察及び猟友会による合同訓練を実施しております。引き続きクマの活発な活動が見込まれますので、状況に応じた対応と市民の皆様への注意喚起に努めてまいります。

## 10 市の花「コスモス」の普及促進事業について

8月中旬、市の花であるコスモスの普及促進活動の一環として、大仙市緑化推進委員会が、市内の小中学校、公民館、介護施設など100施設に対し、あわせて215個のコスモスプランターを配布したほか、大曲総合運動公園と太田球場にコスモスの種子を提供しております。

### 【経済産業部】

## 11 花火伝統文化継承資料館はなび・アムの展示について

本館3階花火資料室では、市内の花火会社をシリーズで紹介する「大仙の花火師たち」の第3弾となる「株式会社 花火創造企業」編と、企画展「花火の道具展」を同時開催しております。「花火の道具展」では、花火製造に使用する伝統的な用具から打ち上げに使用する最新機器まで、花火にまつわる様々な道具を紹介しております。

また、8月2日からは、別館を会場に特別企画展「打ち上げ現場の舞台裏」を開催しております。第92回全国花火競技大会の打ち上げ現場のレイアウト図をもとに、花火筒の配置や大会当日の花火師のスケジュールなどを紹介しており、一般の方は立ち入ることのできない舞台裏にスポットをあてた企画となっております。

### 【観光文化スポーツ部】

## 12 観光PRについて

5月28日と29日の両日、秋田市で東北絆まつり「これが秋田だ！食と芸能大祭典2022」が開催され、市町村ブースにおいて本市のPR活動を行ったほか、メイン会場では、大曲農業高校郷土芸能部がステージ出演し、会場を盛り上げております。

7月2日には、北東北三県観光立県推進協議会が実施する「北東北三県大型観光キャンペーン」のオープニングセレモニーの一環として、まるびちゃんが秋田新幹線こまちの利用者をお出迎えしたほか、観光パンフレットやノベルティの配布などを行っております。

### 13 各地域の夏まつり行事について

特色豊かな夏まつり行事が次のとおり開催されております。

8月 6日 第12回太田の夏まつり（太田地域）

8月16日 第6回南外盆踊り（南外地域）

8月16日 角間川盆踊り（大曲地域）

なお、8月15日に開催を予定していた西仙北地域の「第36回ふるさと西仙まつり」、仙北地域の「彩夏せんぼく2022」、16日に開催を予定していた中仙地域の「第38回ドンパン祭り」については、大雨等の影響により中止となっております。

### 14 嶽の湯の修繕工事について

嶽の湯につきましては、経年劣化により防水シートに亀裂が生じ、剥がれた箇所から雨漏りが発生していましたが、防水シートの全面張り替えを行い、7月29日に工事を終えております。

### 15 文化財の活用について

6月11日・12日、18日・19日の4日間、角間川旧三家のライトアップとあわせてナイトツアーを行い、あわせて278人が来場し、明治時代にタイムスリップしたかのような神秘的な空間を体感していただいております。

### 16 大仙市文化財保存活用地域計画について

今年度中の策定を目指して検討を進めている大仙市文化財保存活用地域計画につきましては、6月30日に第1回目となる大仙市文化財保存活用地域計画協議会を開催し、委員16名から貴重なご意見をいただいております。

### 17 夏季スポーツ合宿について

8月1日から、横浜商科大学硬式野球部をはじめとする首都圏の大学を中心に4団体（大学5、高校1）、約220人が本市を訪れ、夏季スポーツ合宿を行っております。

## 【建設部】

### 18 物渡台地区防災集団移転について

西仙北・南外地域の境界部に位置する物渡台地区の防災集団移転につきましては、現在、移転先用地の詳細調査を実施しており、地域

コミュニティを維持しつつ防災性向上を図るため、令和4年度中の大臣認可に向け、移転促進計画の策定に関して国との調整を進めております。

## 【教育委員会事務局】

### 19 大仙市中学生サミットについて

8月9日、大曲交流センターにおいて「大仙市の未来は私たちがつくる」をメインテーマに開催しております。昨年度に引き続き「SDGs」を共通実践のキーワードに据え、SDGsの視点で各校が実践している生徒会活動を大仙市の未来につなげていくべく、「SDGsプロジェクト 私たちの未来と地域を『つくる』には？」を今年の活動テーマに掲げ、どのようにして活動を地域に広げていくのかについて活発な意見交換が行われております。その結果、「『Well-being にあふれ 未来に向けて持続発展する 田園交流都市だいせん』の実現に向けて、各校の発想を取り入れ、地域と協力し、SDGsをさらに広げていきます」とするサミット宣言が採択されております。

### 20 四ツ屋公民館改築事業について

四ツ屋公民館改築事業につきましては、今般、実施設計業務が完了したことから、現在、建設工事の発注手続を進めております。

## 【上下水道局】

### 21 上水道事業について

老朽化した配水管の改良工事につきましては、6月9日に大曲浜町、7月15日に大曲あけぼの町の発注を終えております。

### 22 簡易水道事業について

大曲地域の松倉及び内小友中山地区において進めている水道未普及地域解消事業につきましては、6月30日に松倉地区、7月15日に内小友中山地区における配水管拡張工事の発注を終えております。

また、協和南部地区の配水管更新事業につきましては、7月21日に協和峰吉川半仙地内の発注を終えております。

### 23 下水道事業について

神岡東部処理区の流域下水道への接続関連工事につきましては、7月15日に発注を終えております。

また、西仙北地域の川里地区農業集落排水施設における改修工事につきましては、電気設備改修工事を7月15日に、機械設備改修工事を7月21日に、防水・防食工事を7月28日にそれぞれ発注を終えております。

## 【新型コロナウイルス経済対策】

### 24 経済対策 4月臨時会

#### (1) 飲食店等経営支援事業

市内に事業所を有する令和元年の売上額120万円以上の個人事業主または中小企業で、令和3年の売上額（法人は直近決算期の売上額）が令和元年比で20%以上減少した事業者に対し、1事業所あたり20万円を給付するもので、原則電子申請としております。入力サポート会場を設置したことなどから、大きな混乱もなく6月30日に受付を終了し、251件の申請を受け付け、5,020万円を給付しております。

#### (2) 酒蔵支援事業

市内に酒蔵を有する事業所に対し100万円を給付するもので、6月30日に受付を終了し、8件の申請を受け付け、800万円を給付しております。

#### (3) 宴会場施設運営支援事業

大人数での利用が可能な宴会場を所有する事業所に対し、年間売上額と売上額の減少率に応じて支援を行うもので、6月10日に受付を終了し、15件の申請を受け付け、1,240万円を給付しております。

#### (4) コンベンション施設運営支援事業

大規模なイベント開催用の複合施設を運営する事業所に対し、会議場の面積に応じて支援を行うもので、6月30日に受付を終了し、6件の申請を受け付け、5,131万3千円を給付しております。

#### (5) 宿泊業等支援事業

令和3年12月から令和4年2月までのいずれかの月の売上額が、令和元年同月比で20%以上減少した宿泊事業者に対し、収容定員



と利用者数に応じて支援を行うもので、6月30日に受付を終了し、14件の申請を受け付け、780万円を支給しております。

#### (6) 観光交通事業者支援事業

市内の貸切観光バス、タクシー及び自動車運転代行業者に対し、車両規模に応じて支援を行うもので、6月30日に受付を終了し、29件の申請を受け付け、1,091万円を支給しております。

#### (7) 「全国へ届け大仙の味～夏の陣～」特産品発送支援事業

本市特産品の販売を促進することで消費を喚起し、販路拡大につなげることを目的に、7月1日から8月31日発送分までの特産品送料を助成するもので、現在、33事業者が対象となっております。

### 25 経済対策 6月定例会

#### (1) プレミアム付地域商品券発行事業

市内における消費を喚起し、地域経済の発展と商業の振興を図るため、プレミアム率40%の地域商品券を発行するもので、7月22日に市内の全世帯に対して購入引換券を送付しています。8月4日から市内17箇所で販売を行っており、8月12日時点の販売数は49,646セットで、販売率は32%となっております。また、事業者による換金額は、1回目の8月19日振込分で333万3千円となっております。

#### (2) テナント事業者支援給付金事業

市内において事業所を借りて家賃を支払っている個人事業主または中小企業で、令和元年の売上額が120万円以上あり、令和3年の売上額（法人は直近決算期の売上額）と比較して20%以上減少した事業者に対し、直近支払い家賃の1.5か月分を給付するもので、7月29日に受付を終了し、110件の申請を受け付け、1,416万7千円を給付しております。

#### (3) 住民税非課税世帯等への臨時特別給付金支給事業

令和4年度住民税非課税世帯等に対し1世帯あたり10万円を支給するもので、7月29日に対象となる1,206世帯に確認書を送付し、8月1日から受付を開始しております。

**(4) 子育て世帯生活支援特別給付金支給事業**

児童扶養手当受給世帯または住民税非課税世帯等に対し、児童1人あたり5万円を支給するもので、8月15日時点で、児童1,324人分を支給しております。